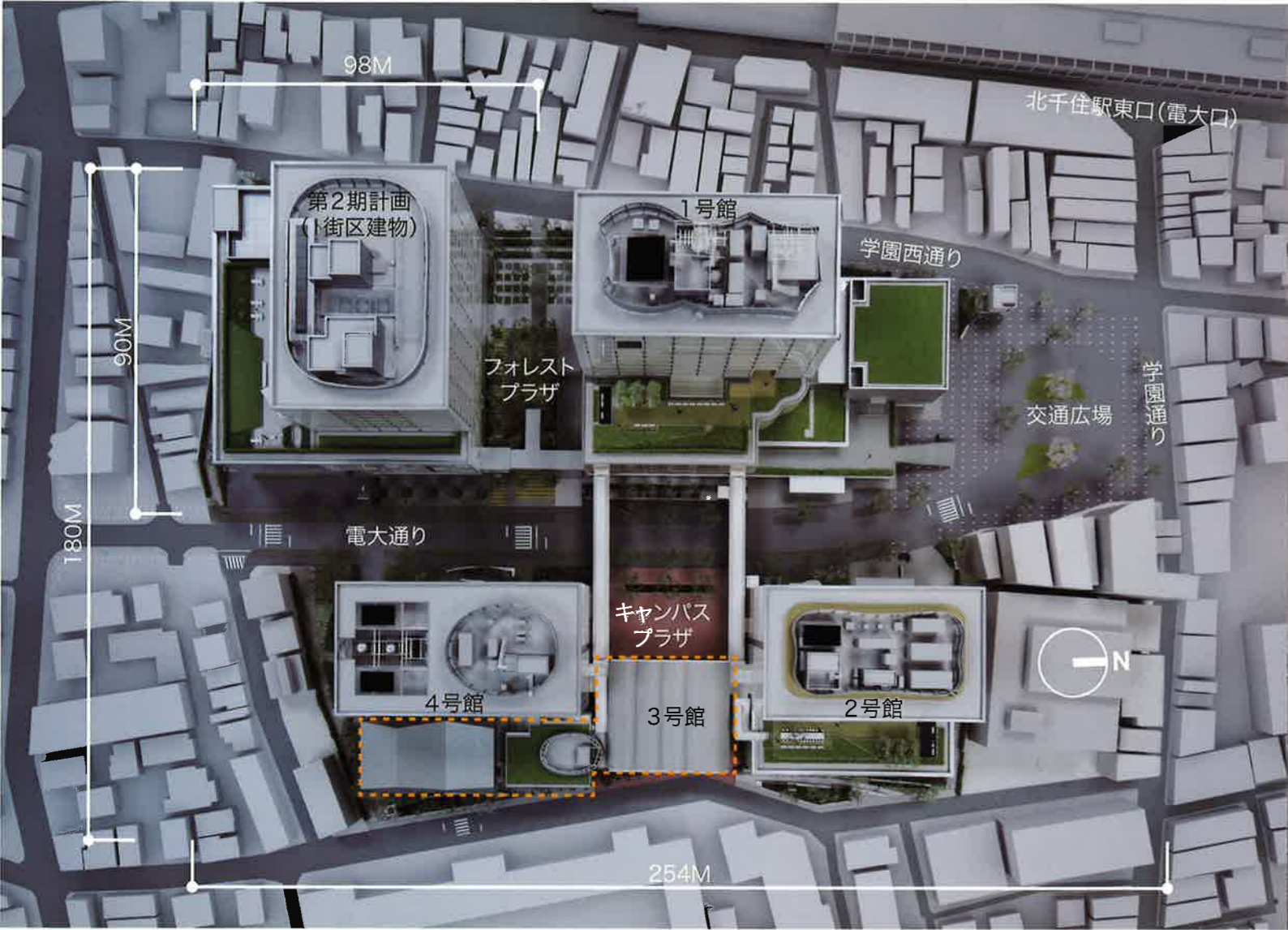


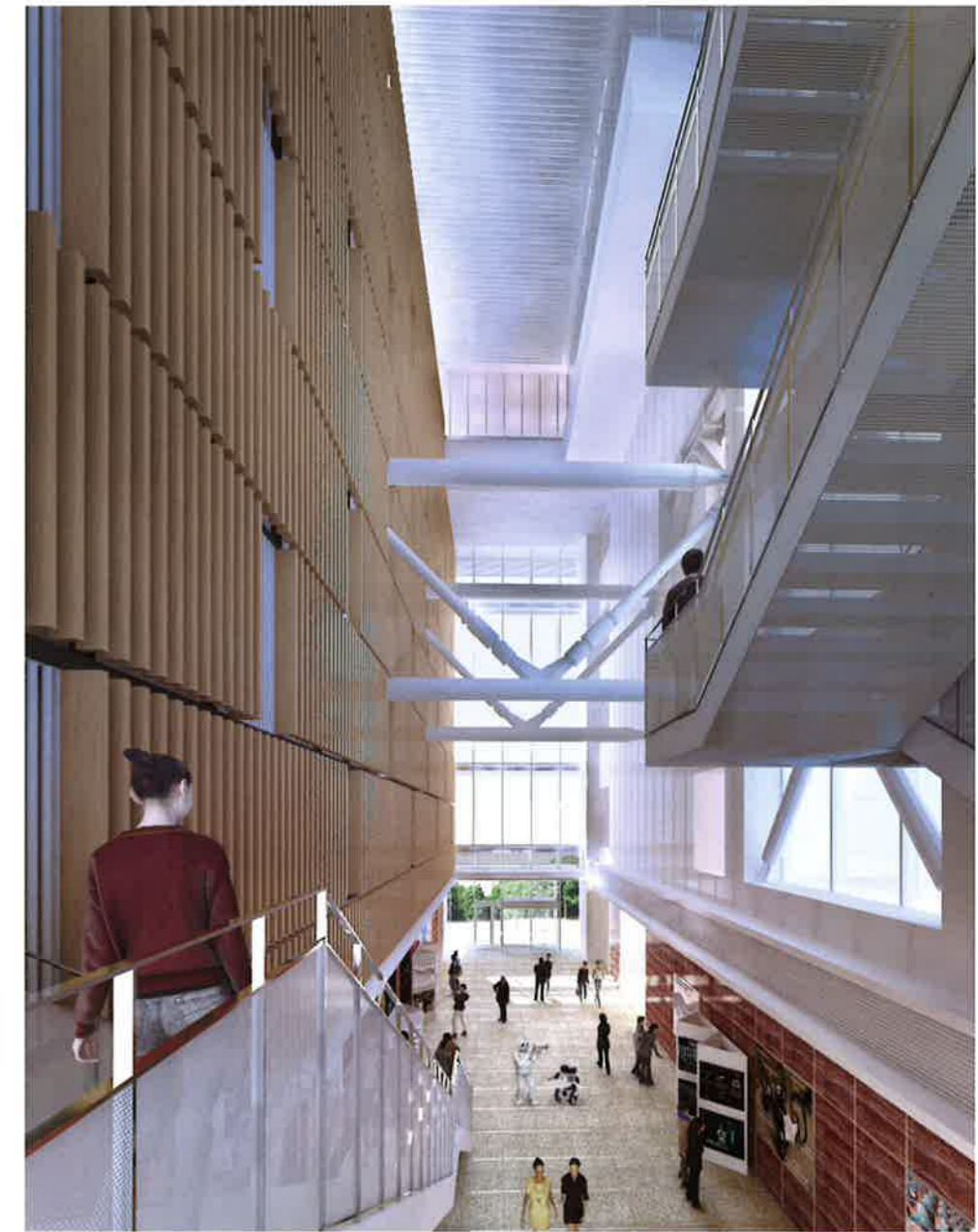
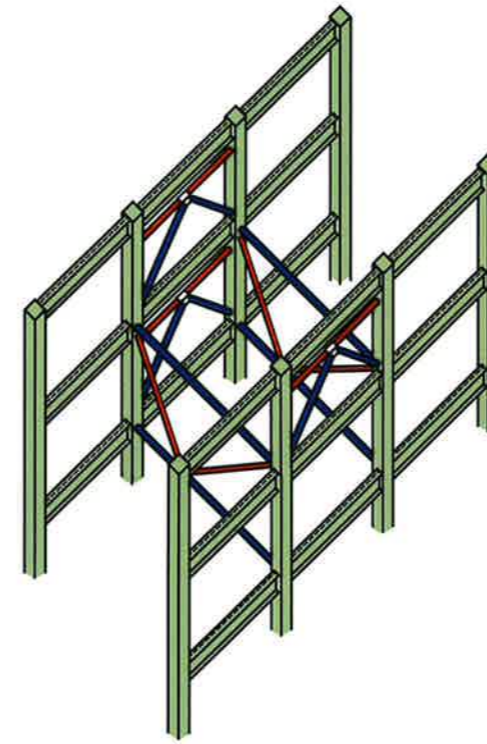
東京電機大学 東京千住キャンパス第2期計画(1街区建物)建設工事 起工式



計画概要

開設時期 平成29年4月(予定)
 工事期間 平成27年2月上旬～平成29年1月末(予定)
 用途 学校(大学)・体育館又はスポーツの練習場(会員制スポーツクラブ)
 敷地面積 15,178.71m² (I、III街区合計)
 建築面積 3,970.63m² (新設・既存合計 15,106.76m²)
 延床面積 33,051.54 m² (新設・既存合計105,809.68m²)
 階数 地上12階/地下1階、建物高さ54.34m
 構造 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、基礎工法 PHC杭他

事業主	学校法人 東京電機大学
設計	株式会社 楨総合計画事務所 (統括設計・監理) 株式会社 日建設計 (構造・設備設計・監理)
建設アドバイザー	住友商事株式会社
施工	株式会社 大林組



▲ 敷地南東よりキャンパス全体を望む
 2階東側(電大通り側)エントランス
 ◀ 西側(学園西通り側)エントランスよ
 アトリウム上空に計画される制振部
 ▼ アトリウムから様子が見える連結縦
 表紙 敷地南西よりキャンパス全体
 裏表紙 キャンパス全体を上空より

よりアトリウムを望む▶
 りアトリウムを望む
 材(オイルダンパー)のダイアグラム ▲
 型蓄熱槽
 を望む
 望む



■ 計画の特徴

1. ランドスケープ: 第1期同様に「門や塀のない緑豊かなキャンパス」とします。
2. 都市景観への配慮: 第2期高層棟を第1期1号館より低く抑え、キャンパス中央の北側に寄せてキャンパス全体をコンパクトなボリュームとします。
3. 学園西通りの賑わいへの貢献: 建物西側に専用出入口をもつ学外経営の業務施設(会員制のスポーツクラブ等を予定)を計画します。
4. 現代の「アゴラ」の進化: 電大通りと学園西通りの間を通り抜け可能な「アトリウム(吹抜け空間)」を計画します。第1期からの、電大通りを教育・地域連携の主軸とする現代の「アゴラ」が、学園西通りへ到達し、完結します。
 「アトリウム」の電大通り側には、建学の精神の「実学尊重」を具現化し、工作室を併設した3層吹抜けの「ものづくり教室」を計画します。
5. 災害に強い建築: 構造は、第1期同様に高い耐震性能を備えます。設備も、第1期同様に連結縦型蓄熱槽を導入し、省エネルギーだけでなく、被災時の水補給にも対応します。
 これらの安心、安全性の計画を「アトリウム」で見える化します。